

2022年3月期 第2四半期
(2021年度 中間期)
決算ハイライト



リそなホールディングス

2021年11月9日

2022年3月期 中間期決算の概要

■ 親会社株主に帰属する中間純利益：808億円

- 前同比+244億円 (+43.3%)、通期目標*1比進捗率 55.7%

■ 実質業務純益：1,168億円 前同比+57億円 (+5.1%)

- 業務粗利益：3,231億円 前同比+58億円 (+1.8%)

コア収益(預貸金利益+フィー収益+経費)：前同比+122億円

- 国内預貸金利益：前同比+4億円

貸出金平残：同 +3.50%、貸出金利回り：同 Δ3bps
(政府等向け貸出除き) 同 +2.32%、同 Δ2bps

貸出金残高、利回りともに計画比インライン

- フィー収益：前同比+120億円、フィー収益比率：32.6%

資産形成サポート、法人ソリューションが牽引

- 債券関係損益(先物込)：前同比Δ147億円

- 経費：Δ2,066億円 前同比Δ2億円(費用増加)

KMFGの経費削減等により、計画比改善にて推移
⇒ KMFG連結経費率：71.0% (前同比Δ8.8%)

■ 与信費用：Δ170億円 前同比+61億円(費用減少)

個引新規発生は低水準、年間計画比費消率38.6%

■ 通期業績目標(1,450億円)・配当予想(年間21円)変更なし

■ サステナビリティ長期目標設定(2021年6月)

■ 上限100億円の自己株式取得枠設定

(取得期間11/10~12/20、今回取得する自己株式は全て消却)

HD連結(億円)	2022/3期 中間期 (a)	前同比		通期目標*1 比進捗率 (d)
		(b)	増減率 (c)	
親会社株主に帰属する 中間純利益 (1)	808	+244	+43.3%	55.7%
1株当たり中間純利益(EPS、円) (2)	33.09	+8.55	+34.8%	
1株当たり純資産(BPS、円) (3)	1,056.45	+85.48	+8.8%	
業務粗利益 (4)	3,231	+58	+1.8%	
資金利益 (5)	2,140	+95		
うち国内預貸金利益*2 (6)	1,698	+4		
フィー収益 (7)	1,055	+120		
フィー収益比率 (8)	32.6%	+3.1%		
信託報酬 (9)	101	+8		
役員取引等利益 (10)	953	+111		
その他業務粗利益 (11)	35	Δ158		
うち債券関係損益(先物込) (12)	Δ32	Δ147		
経費(除<銀行臨時処理分) (13)	Δ2,066	Δ2	Δ0.1%	
経費率 (14)	63.9%	Δ1.0%		
実質業務純益 (15)	1,168	+57	+5.1%	
株式等関係損益(先物込) (16)	244	+215		
与信費用 (17)	Δ170	+61		
その他の臨時・特別損益 (18)	Δ79	Δ12		
税金等調整前 中間純利益 (19)	1,163	+321	+38.1%	
法人税等合計 (20)	Δ358	Δ112		
非支配株主に帰属する 中間純利益 (21)	2	+35		

*1. 2022/3期 通期業績目標1,450億円 *2. 国内預貸金利益：銀行合算、銀行勘定(譲渡性預金を含む)

*3. 利益にマイナスの場合は「Δ」を付して表示

2022年3月期 中間期を振り返って

■ 収益・コスト構造改革が着実に進展：コア収益は増加基調を維持

- コア収益(預貸金利益+フィー収益+経費)：687億円(前同比 +122億円、'19/9期比 +64億円)

■ 関西みらいフィナンシャルグループ(KMFG)の確かな進化

- KMFG連結中間純利益：106億円(前同比 +53億円)

■ 「2つのX」をドライバーに変革を加速

SX

サステナビリティ長期目標策定

DX

金融デジタルプラットフォーム構想始動

■ 変化するお客さまのこまりごとに対し、「りそな」ならではの価値をご提供

お客さまのこまりごとの変化

資金繰りの安定化
財務基盤強化

生活様式の変化
デジタル化の加速

備えに対する意識の高まり
将来設計の見直し

主要ビジネスの状況(1H)

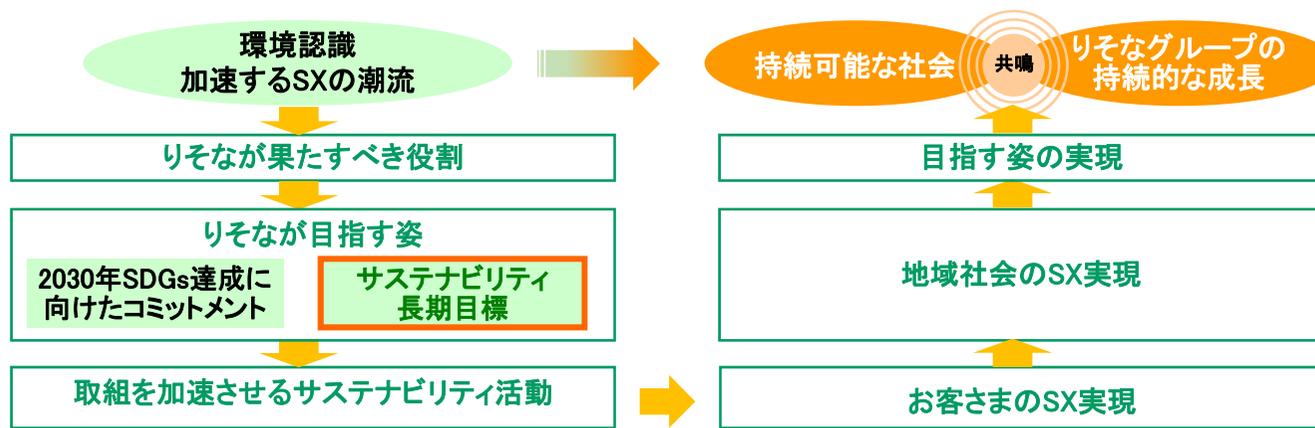
- 法人向け貸出・資本サポート
 - コロナ関連融資 累計実行額*1：4.6兆円
 - 資本支援ファンド等('20/3月～設定の310億円)活用：累計実行額84億円
- 非対面・キャッシュレス
 - グループアプリDL数：431万DL('20/9末比+136万、+46.1%)、他めぶきFG2行44万DL('21/3月～)
 - デビットカード発行枚数：265万枚('20/9末比+42万、+18.9%)
- 資産形成サポート
 - FW残高(法人込*2)：6,717億円('20/9末比+48.2%)、うち横浜銀行265億円('21/4月～)
- 資産・事業承継
 - 承継関連収益(承継信託・不動産・M&A)：104億円(前同比 +32.0%)
 - りそな企業投資
 - ✓ '21年9月、第1号案件
 - ✓ 相談件数(~'21/9月)：約300件

*1. グループ4行報告ベース('20.3.10～'21.9.30迄累計) *2. グループ外を含む

持続可能な社会の実現に向けて

リテールのお客さまのSX*1に最も貢献する金融サービス企業を目指して

■ リそなグループのSX全体像



■ サステナビリティ長期目標

2021年6月策定

<p>1. リテール・トランジション ・ファイナンス</p> <p>累計取扱高 10兆円 (2021～2030年度)</p> <p>対象とするファイナンス: リテールのお客さまの意識・行動 のトランジションに向けて、現在地 からの着実な前進に資する ファイナンス*2</p>	<p>2. カーボンニュートラル</p> <p>CO2排出量 実質ゼロ (～2030年度、SCOPE1,2)</p> <p>自社調達電力の再エネ化を積極 推進し、当グループのエネルギー 使用に伴うCO2排出量を 2030年度までに実質ゼロを目指す</p>	<p>3. 女性登用・活躍推進 拡大</p> <p>現状+10%以上 (～2030年度)</p> <p>女性役員比率*3 30%以上 女性経営職階比率*4 20%以上 女性ライン管理職比率*4 40%以上</p>
--	--	---

*1. サステナビリティ・トランスフォーメーション *2. 再エネ関連事業等のグリーンプロジェクト、第三者認証を伴う大企業向けファイナンスも含む
*3. HD *4. グループ6社(HD、RB、SR、KMFG、KMB、MB)の合算

2022年3月期中間期 損益内訳

(億円)	HD連結		銀行合算		りそな銀行		埼玉りそな銀行		KMFG銀行合算		連単差 (a)-(c)	
	(a)	前同比 (b)	(c)	前同比 (d)	(e)	前同比 (f)	(g)	前同比 (h)	(i)	前同比 (j)		
業務粗利益 (1)	3,231	+58	2,946	+53	1,662	△9	595	+15	688	+47	285	
資金利益 (2)	2,140	+95	2,103	+94	1,141	+75	439	+20	523	△0	36	
うち国内預貸金利益 (3)			1,698	+4	875	+14	346	△4	476	△5		
うち投資信託解約損益 (4)	4	△0	4	+4	*1	—	2	△7	2	△9	0	
フィー収益 (5)	1,055	+120	813	+114	525	+59	145	+8	142	+45	242	
フィー収益比率 (6)	32.6%	+3.1%	27.6%	+3.4%	31.5%	+3.7%	24.4%	+0.8%	20.6%	+5.5%		
信託報酬 (7)	101	+8	102	+9	101	+9	0	+0	0	+0	△0	
役務取引等利益 (8)	953	+111	711	+105	423	+50	145	+8	142	+45	242	
その他業務粗利益 (9)	35	△158	28	△155	△4	△144	10	△13	23	+2	6	
うち債券関係損益(先物込) (10)	△32	△147	△32	△146	*1	△47	△135	△13	11	+2	0	
経費(除く銀行臨時処理分) (11)	△2,066	△2	△1,936	+2	△1,051	△20	△380	△7	*2	△504	+29	△129
経費率 (12)	63.9%	△1.0%	65.7%	△1.3%	63.2%	+1.5%	63.9%	△0.4%	73.2%	△10.0%		
実質業務純益 (13)	1,168	+57	1,009	+56	610	△29	214	+8	184	+77	159	
コア業務純益(除く投資信託解約損益)*3 (14)			1,021	+165	650	+65	201	+16	169	+83		
株式等関係損益(先物込) (15)	244	+215	242	+197	206	+201	31	+8	4	△12	2	
与信費用 (16)	△170	+61	△149	+49	△100	+36	△5	+16	△43	△2	△20	
その他の臨時・特別損益 (17)	△79	△12	△68	△7	△37	△2	△11	+2	△18	△6	△10	
税引前(税金等調整前)中間純利益 (18)	1,163	+321	1,034	+296	678	+205	228	+35	127	+55	129	
法人税等合計 (19)	△358	△112	△311	△95	△201	△61	△68	△11	△42	△22		
非支配株主に帰属する中間純利益 (20)	2	+35										
(親会社株主に帰属する)中間純利益 (21)	808	+244	722	+201	476	+144	160	+24	84	+32		

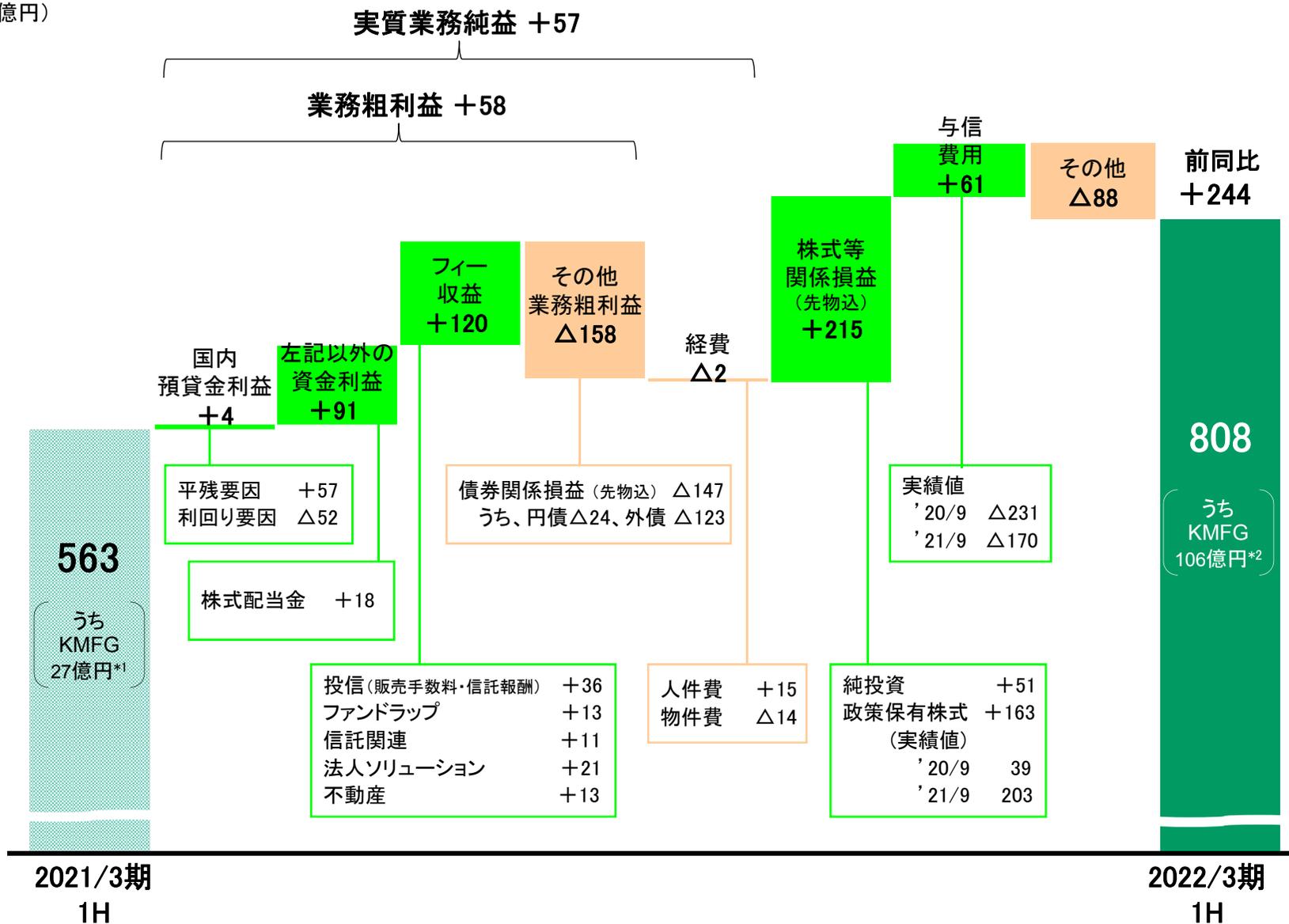
*1. 投資信託解約損益は、投資信託分配金と通算してマイナスとなるため、当該金額を債券関係損益に計上
(投信解約損益△51億円、投信分配金+23億円 → ネット△28億円)

*2. KMBの旧びわこ銀行のれん償却額(△3億円)を除く *3. 実質業務純益 - 投資信託解約損益 - 債券関係損益(現物)

親会社株主に帰属する中間純利益の前同比増減要因

HD連結

(億円)



*1. KMFG連結中間純利益 × 51.2% *2. KMFG連結中間純利益 × 100%

貸出金・預金の平残・利回り(国内)

銀行合算

貸出金・預金の平残、利回り、利回り差

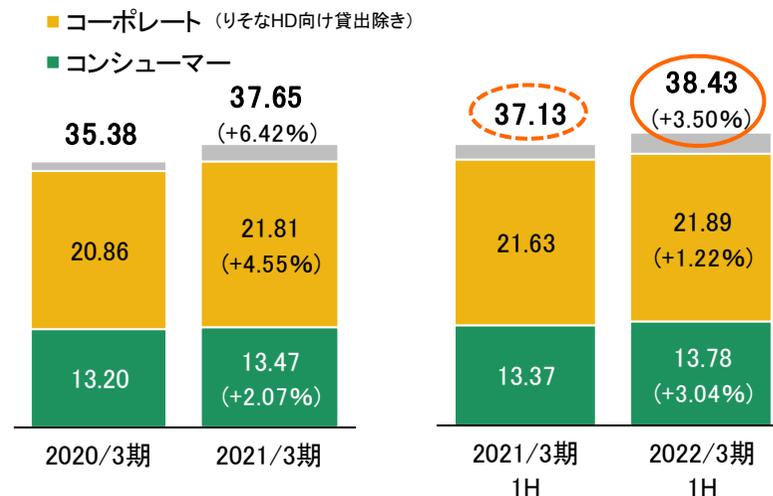
■ '22/3期1H (前同比) : 貸出金平残+3.50%、利回り△3bps
 (政府等向け貸出除き) 貸出金平残+2.32%、利回り△2bps
 ⇒ '22/3期(修正計画) 同+1.84% 同△2bps

平残: 兆円 収益・費用: 億円		中間期		2022/3期	
		実績 (a)	前同比*3 (b)	修正計画 (c)	前期比*3 (期初計画比) (d)
貸出金	平残 (1)	38.43	+3.50%	38.52	+2.29%
	利回り (2)	0.89%	△0.03%	0.88%	△0.03%
	収益 (3)	1,722	+0	3,413	△44
コーポレート部門*1 (りそなHD向け貸出除)	平残 (4)	21.89	+1.22%	21.94	+0.58% (△1.02%)
	利回り (5)	0.83%	+0.01%	0.82%	△0.00% (+0.01%)
一般貸出	平残 (6)	18.46	+2.33%	18.54	+1.52% (△1.15%)
	利回り (7)	0.78%	+0.02%	0.77%	+0.00% (+0.01%)
コンシューマー部門*2	平残 (8)	13.78	+3.04%	13.87	+2.96%
	利回り (9)	1.12%	△0.06%	1.11%	△0.06%
預金+NCD	平残 (10)	58.97	+6.78%	58.70	+4.76% (+3.06%)
	利回り (11)	0.00%	△0.00%	0.00%	△0.00%
	費用 (12)	△24	+3	△50	+3
預貸金	利回り差 (13)	0.88%	△0.02%	0.87%	△0.03%
	利益 (14)	1,698	+4	3,362	△40

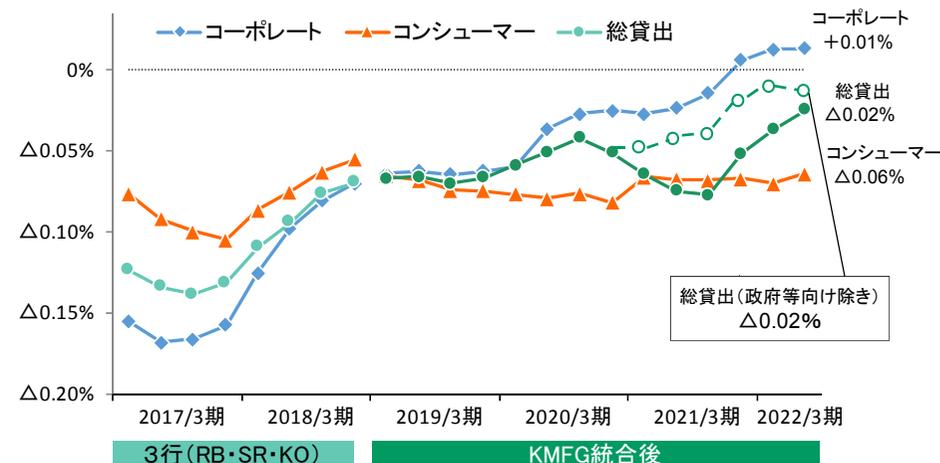
*1. 社内管理計数、コーポレート部門: 一般貸出 + アパートマンションローン
 *2. 社内管理計数、コンシューマー部門: 自己居住用住宅ローン + 消費性ローン
 *3. 平残は増減率

貸出金平残、利回り推移

【貸出金平残(兆円)】()内は前同比増減率



【貸出金利回り Q毎前同比(%)】



貸出金・預金末残

銀行合算

貸出金末残

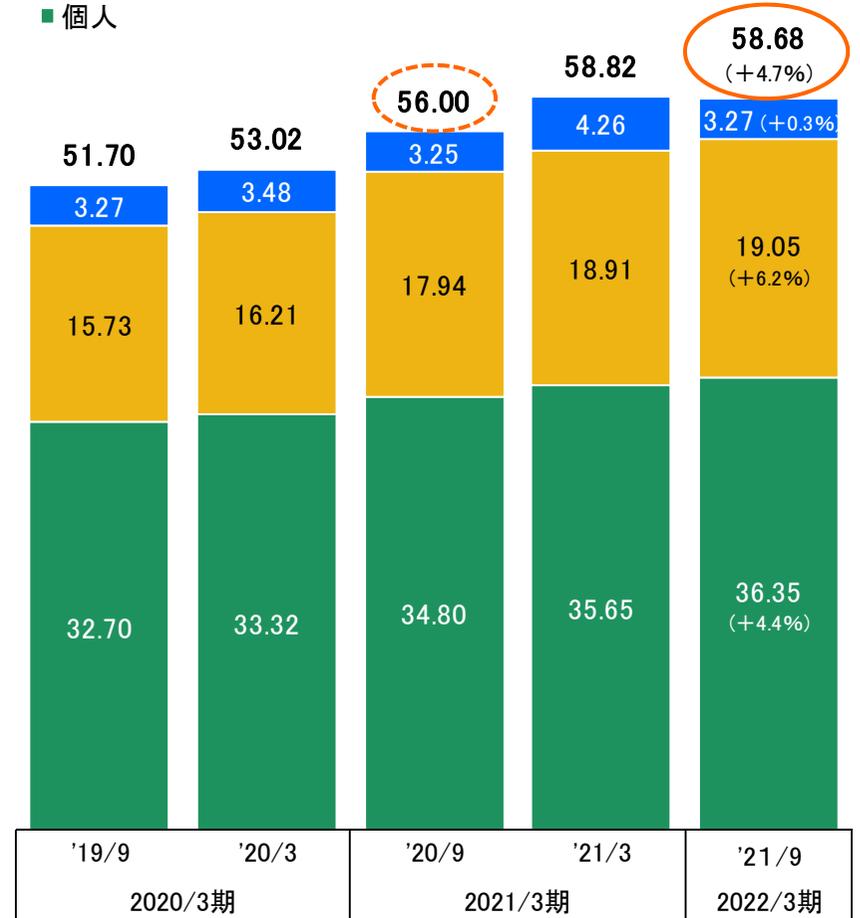
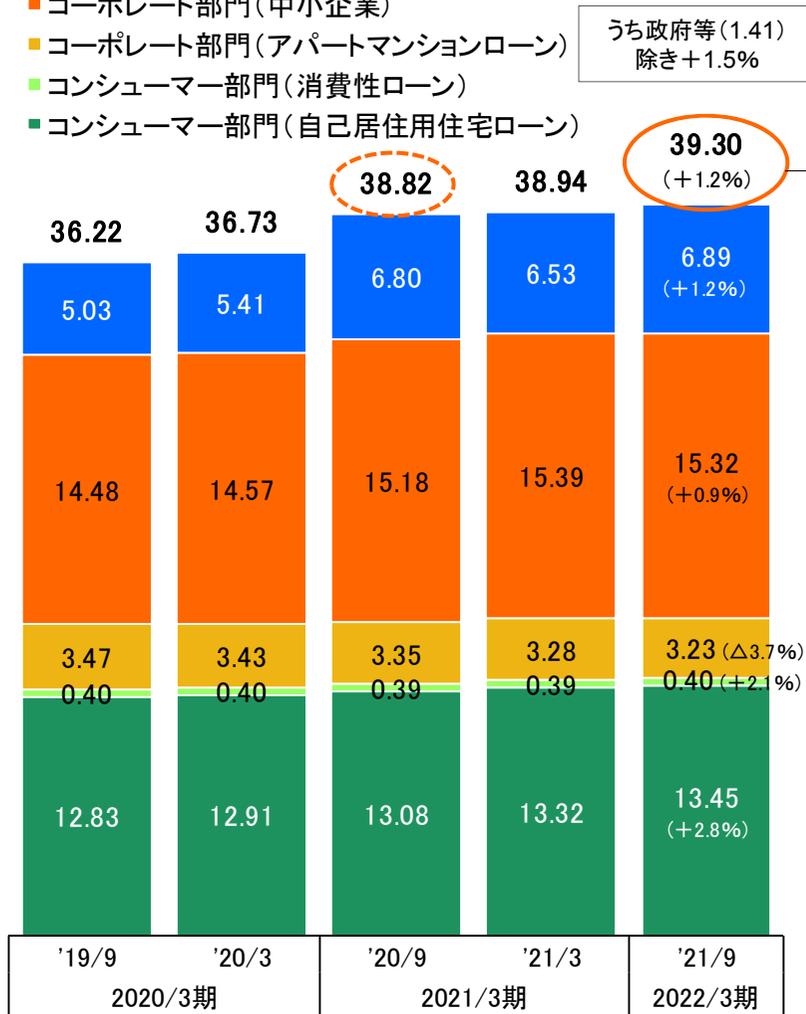
預金末残

〔兆円、()内は前同増減率〕

〔兆円、()内は前同増減率〕

- コーポレート部門(大企業・その他)
- コーポレート部門(中小企業)
- コーポレート部門(アパートマンションローン)
- コンシューマー部門(消費性ローン)
- コンシューマー部門(自己居住用住宅ローン)

- その他
- 法人
- 個人



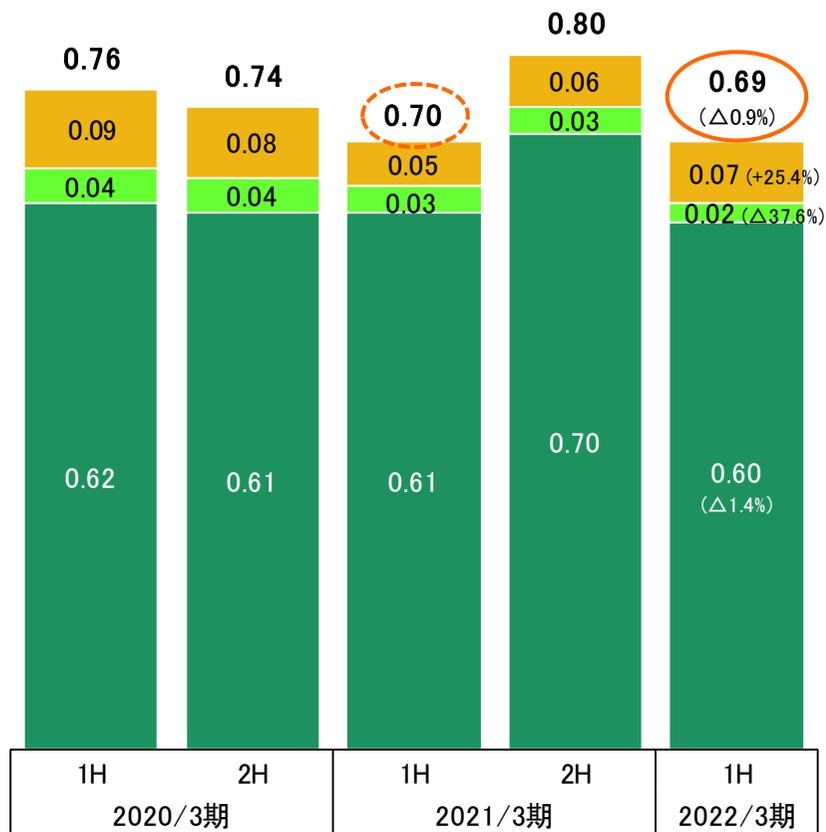
住宅ローンビジネス

銀行合算

住宅ローン実行額

[兆円、()内は前同増減率]

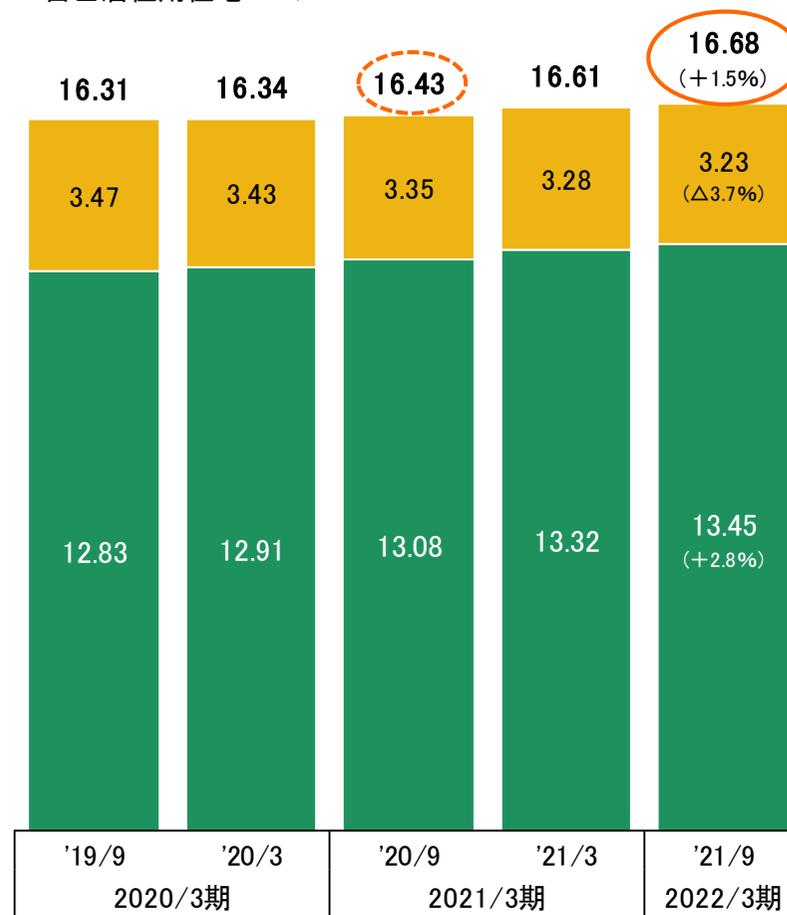
- アパートマンションローン
- フラット35
- 自己居住用住宅ローン



住宅ローン末残

[兆円、()内は前同増減率]

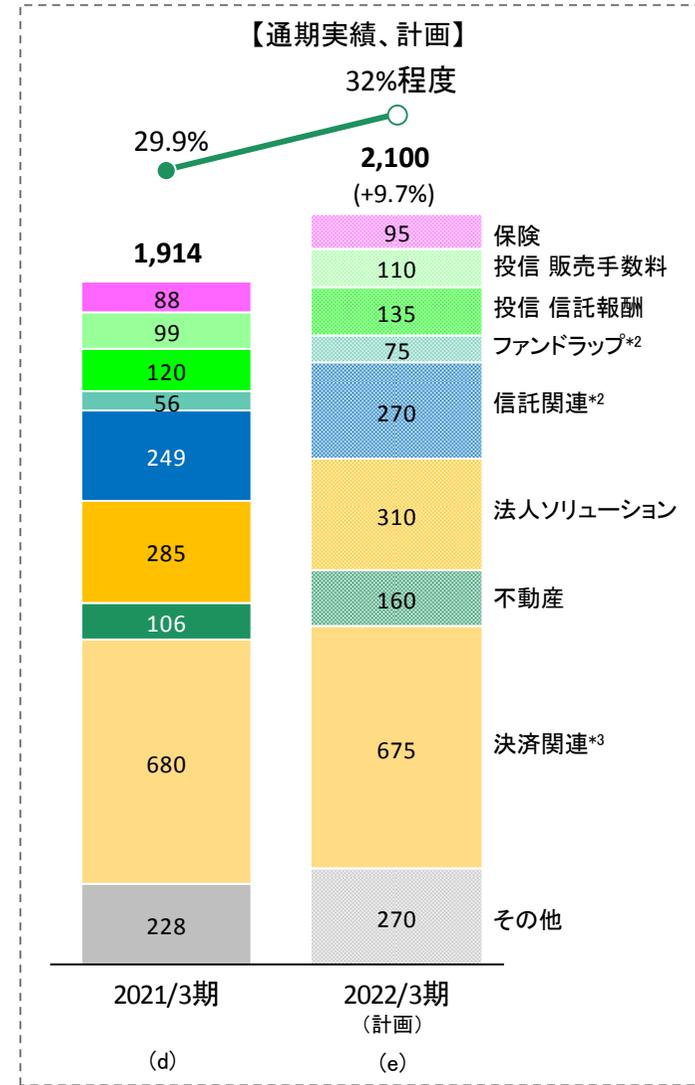
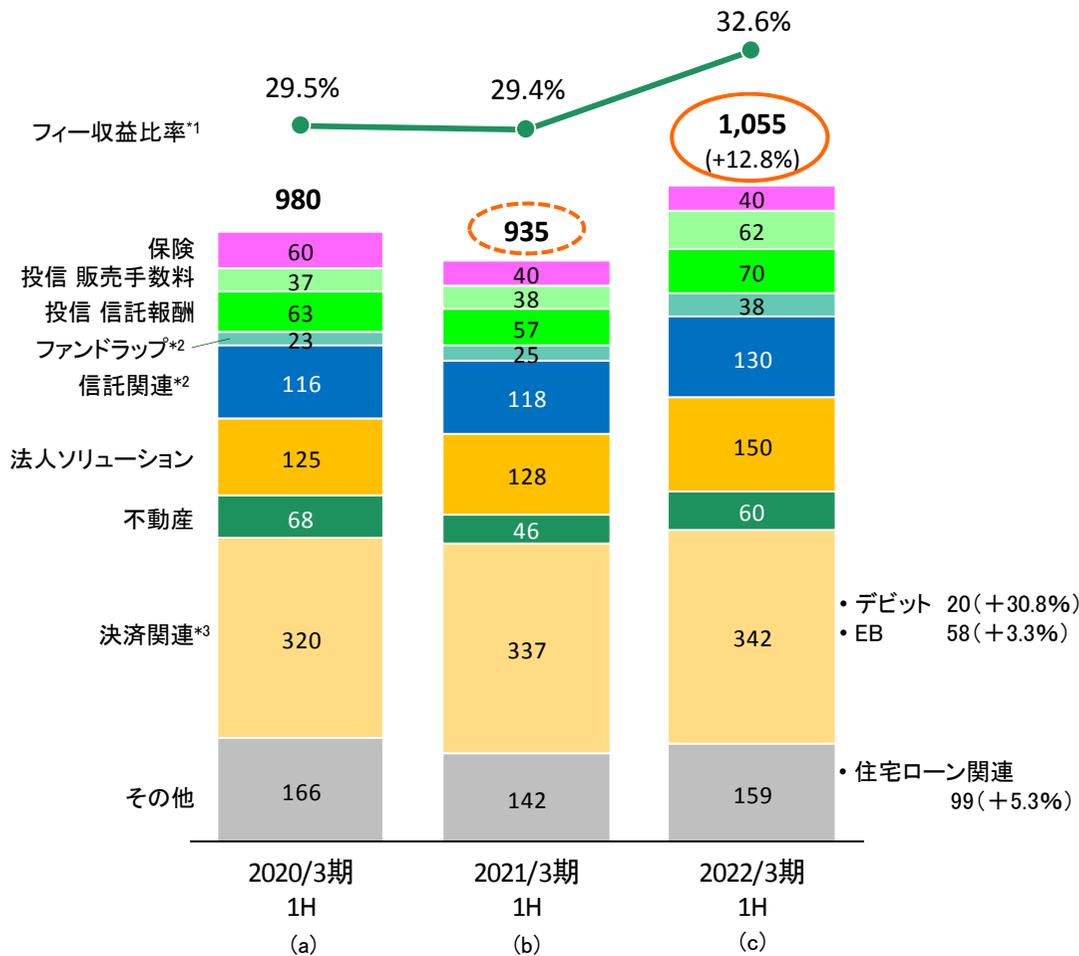
- アパートマンションローン
- 自己居住用住宅ローン



フィー収益

- フィー収益比率*1: 32.6%、通期計画比進捗率: 50.2%
- 投資信託(前同比+36億円、+38.5%)、法人ソリューション(同+21億円、+17.0%)、ファンドラップ(同+13億円、+51.2%)が牽引

[億円、()内は前同比増減率]

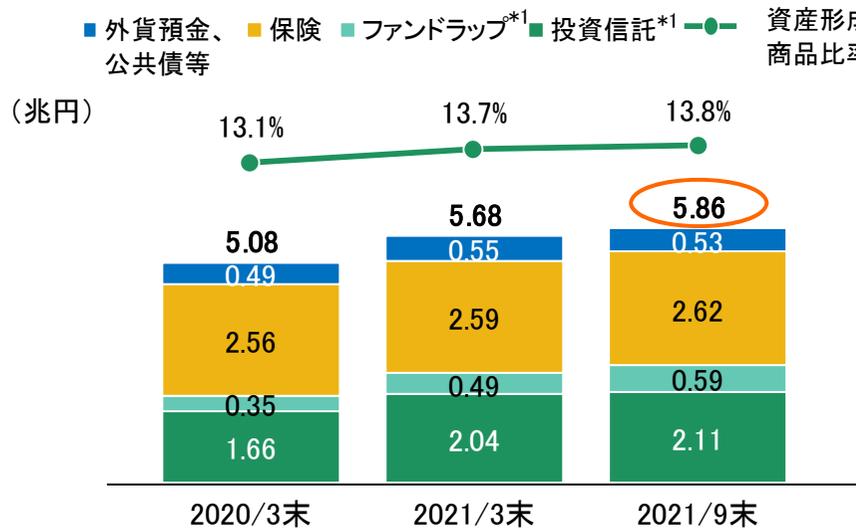


*1. (役務取引等利益+信託報酬)÷業務粗利益 *2. リそなアセットマネジメントの役務利益を含む
 *3. 内為、口振、EB、デビットおよびリそな決済サービス、リそなカードの役務利益

主要なフィージネス(1) (資産形成サポートビジネス)

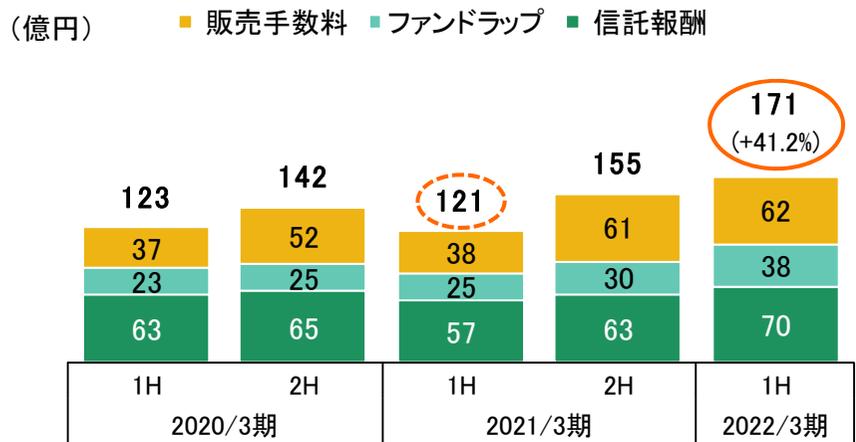
HD連結

個人向け資産形成サポート商品残高

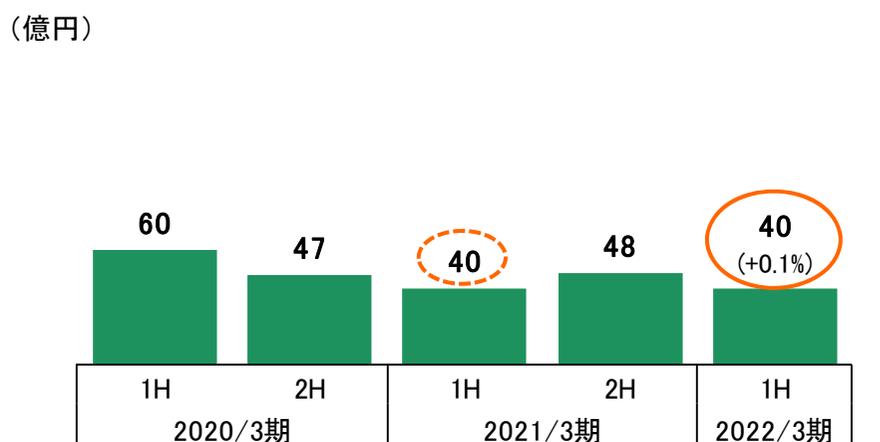


- FW(ファンドラップ)残高*1: '21/9末 6,717億円 (法人込*3)
- 投資信託・FWの増減: '22/3期1H 約+1,700億円
 - うち純流入額(販売-解約・償還): 約+1,090億円
- 投信・FW、保険利用先数: '21/9末 95.6万先
 - うちNISA口座数*4: 40.6万口座(前同比+8.2%)
- iDeCo加入者数*5: '21/9末 14.2万先(前同比+12.6%)

投資信託・ファンドラップ収益



保険収益



*1. 時価ベース残高 *2. 個人向け資産形成サポート商品残高/(個人向け資産形成サポート商品残高+個人預金(円貨))
 *3. グループ外を含む *4. NISA、ジュニアNISA、積立NISA *5. iDeCo加入者+運用指図者

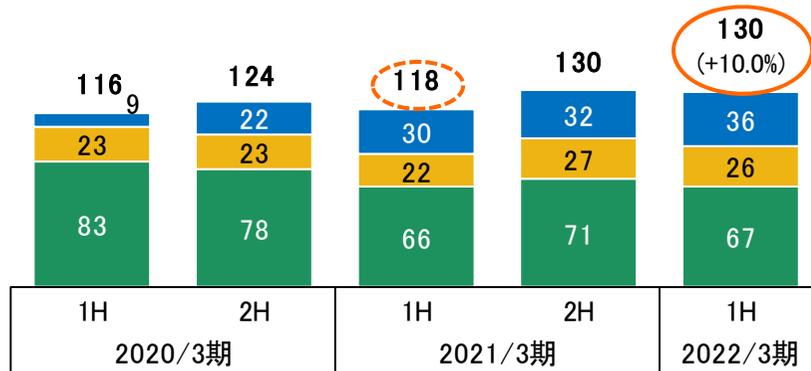
主要なフィージネス(2) (信託・法人ソリューション・不動産)

HD連結

信託業務関連収益

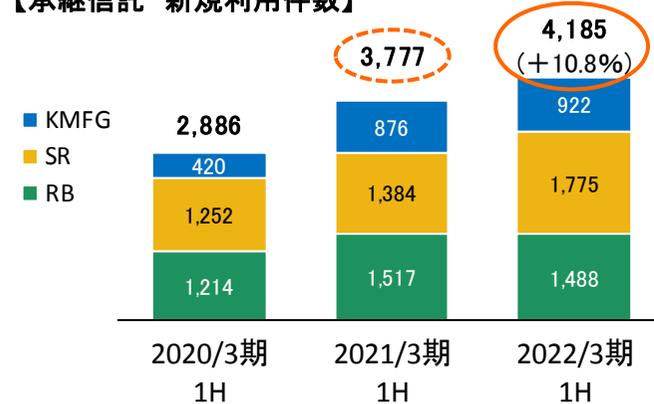
(億円)

■ リソナアセットマネジメント ■ 承継信託 ■ 年金・証券信託



■ 信託機能のグループ展開を通じた収益機会の拡大

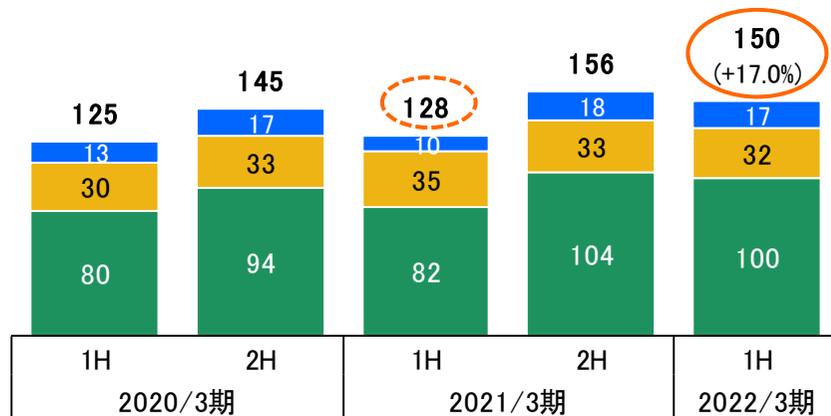
【承継信託 新規利用件数】



法人ソリューション収益

(億円)

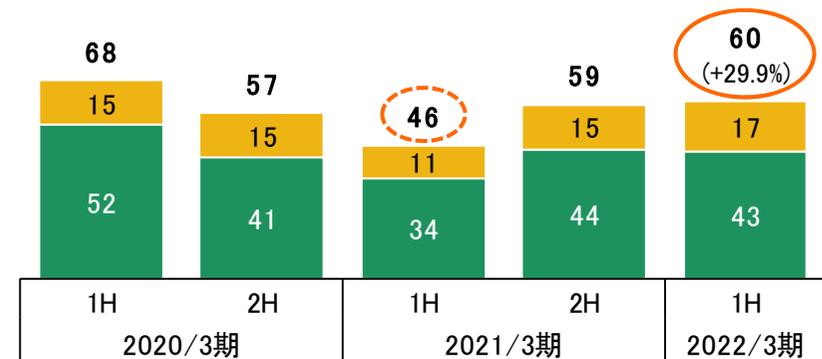
■ M&A ■ 私募債 ■ コミット/シローン/コベナンツ



不動産業務収益*1

(億円)

■ 法人 ■ 個人



*1. 不動産ファンド出資関連収益除く

与信費用、不良債権

HD連結・銀行合算

与信費用

(億円)	2020/3期	2021/3期		2022/3期	
	(a)	中間期 (b)	(c)	中間期 (d)	計画 (e)
HD連結 (1)	△229	△231	△574	△170	△440

銀行合算 (2)	△188	△198	△523	△149	△370
一般貸倒引当金 (3)	△47	△44	△159	△49	
個別貸倒引当金等 (4)	△140	△154	△363	△100	
新規発生 (5)	△271	△163	△450	△137	
回収・上方遷移等 (6)	131	8	87	37	

連単差 (7)	△41	△32	△51	△20	△70
うち、住宅ローン保証 (8)	△23	△19	△5	2	
うち、りそなカード (9)	△21	△8	△15	△7	

<与信費用比率>

(bps)

HD連結*1 (10)	△6.2	△12.1	△15.0	△8.5	△11.0
銀行合算*2 (11)	△5.0	△10.2	△13.4	△7.4	△9.1

*正の値は戻入を表す

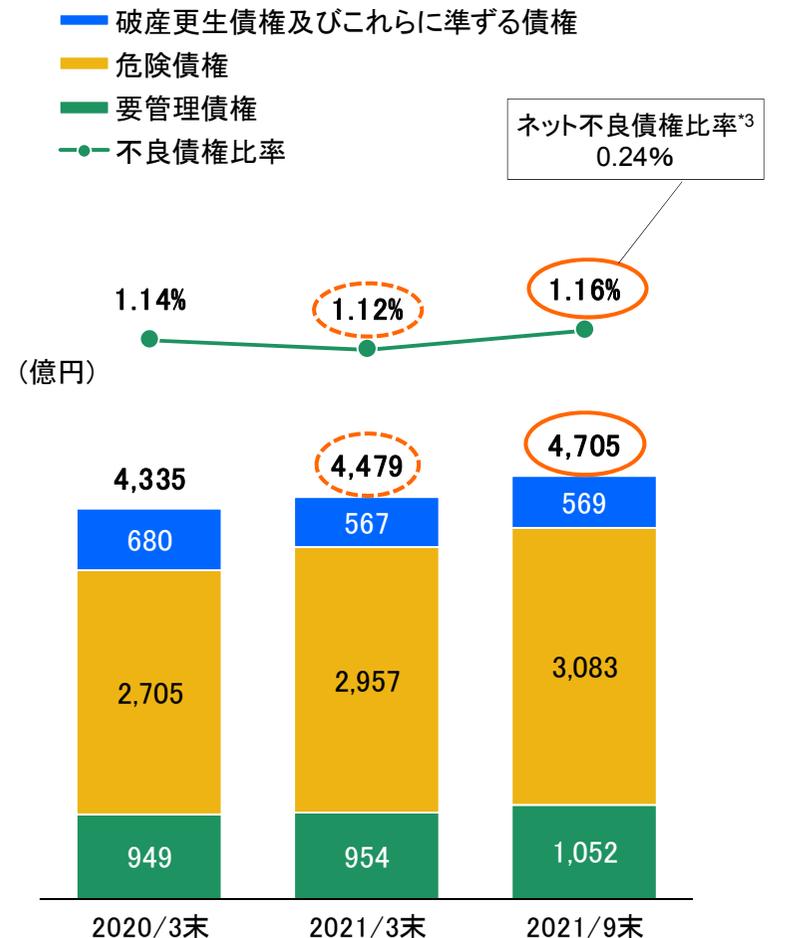
*1. HD連結与信費用／(連結貸出金＋連結支払承諾見返末残) (期首・期末平均)

*2. 銀行合算与信費用／金融再生法基準与信残高 (期首・期末平均)

*3. 担保/保証・引当金控除後不良債権比率

不良債権残高・比率(銀行合算)

(金融再生法基準)



有価証券*1

(億円)	2020/3末	2021/3末	2021/9末	評価差額
	(a)	(b)	(c)	(d)
その他有価証券 (1)	30,557	44,807	46,700	6,715
株式 (2)	3,369	3,252	3,109	6,910
債券 (3)	17,228	25,864	27,765	△ 73
国債 (4)	4,596	9,257	10,004	△ 96
(デュレーション) (5)	14.8年	13.1年	12.6年	-
(BPV) (6)	△6.8	△12.1	△12.8	-
地方債・社債 (7)	12,631	16,606	17,761	23
その他 (8)	9,959	15,690	15,825	△ 121
外国債券 (9)	5,541	9,048	9,707	△ 192
(デュレーション) (10)	2.4年	6.3年	5.7年	-
(BPV) (11)	△0.0	△5.1	△5.0	-
国内投資信託 (12)	4,350	6,584	6,073	35
(評価差額) (13)	4,207	6,153	6,715	
満期保有債券 (14)	19,684	19,422	25,522	158
国債 (15)	11,442	10,356	15,142	104
(評価差額) (16)	281	115	158	

■ 3資産の評価差額 (4)+(9)+(12)

'20/3末 △69 ⇒ '21/3末 △451 ⇒ '21/9末 △254 (億円)

■ CLO: ゼロ

*1. 取得原価、時価のある有価証券 *2. その他有価証券評価差額金除き

政策保有株式

■ 2021/9期(実績)

削減額(上場分・取得原価): 143億円、売却益等(同): 201億円
(HD連結ベース:200億円)

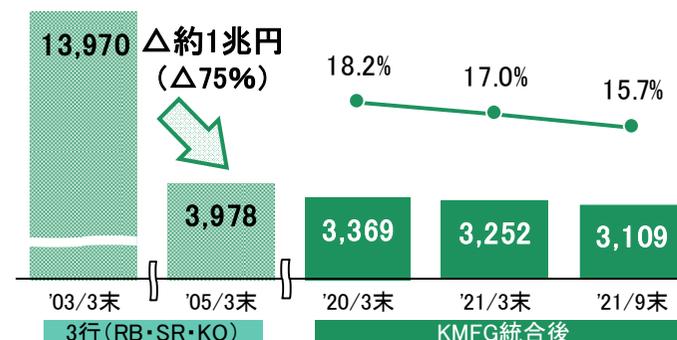
損益分岐点株価(日経平均ベース): 7,800円程度

■ 政策保有株式に関する方針の概要

- 公的資金による資本増強以降、残高圧縮に取り組み、価格変動リスクを低減。今後も「残高縮減」が基本方針
- 保有の妥当性は中長期的な取引展望の実現可能性を含むリスク・リターンを検証により判断
保有の妥当性が認められる場合も市場環境や経営・財務戦略を考慮し売却する場合あり
 - '20/3末からの3年間で「300億円程度」を削減
 - 普通株式等Tier1*2対比「15%程度」に削減

【政策保有株式残高】

● CET1(その他有価証券評価差額金除き)比 (億円)



自己資本比率

HD連結

■ 2021/9末の自己資本比率(国内基準)は11.78%、普通株式等Tier1比率(国際統一基準)は13.91%と十分な水準を維持

国内基準

(億円)	2021/3	2021/9	増減
自己資本比率 (1)	11.54%	11.78%	+0.24%
自己資本の額 (2)	20,034	20,364	+ 330
コア資本に係る基礎項目の額 (3)	20,763	21,121	+ 357
うち普通株式に係る株主資本の額 (4)	18,361	20,322	+ 1,960
うち調整後非支配株主持分の額 (5)	1,709	90	△1,619
うち引当金等算入額 (6)	541	564	+ 22
うち劣後債等(経過措置による算入) (7)	435	391	△43
コア資本に係る調整項目の額 (8)	728	756	+ 27
リスク・アセット等 (9)	173,519	172,773	△746

■ 自己資本の額の増減要因

- 株主資本の額 +1,960億円
 - ・ 親会社株主に帰属する中間純利益 +808億円
 - ・ KMFGの持分変動に伴う資本剰余金増加 +1,845億円
 - ・ 自己株式の取得・消却 △409億円
 - ・ 中間配当予定額 △254億円

■ グループ銀行、銀行持株会社

国内基準	りそな (連結)	埼玉りそな (単体)	KMFG (連結)
自己資本比率	11.26%	15.39%	8.71%

(参考)国際統一基準

(億円)	2021/3	2021/9	増減
普通株式等Tier1比率 (10)	13.31%	13.91%	+0.60%
その他有価証券評価差額金除き (11)	10.81%	11.16%	+0.35%
Tier1比率 (12)	13.50%	13.93%	+0.43%
総自己資本比率 (13)	14.14%	14.48%	+0.34%
普通株式等Tier1資本の額 (14)	23,559	24,546	+ 986
基礎項目の額 (15)	24,365	25,338	+ 972
うち普通株式に係る株主資本の額 (16)	18,361	20,322	+ 1,960
うちその他有価証券評価差額金 (17)	4,429	4,844	+ 415
うち調整後非支配株主持分の額 (18)	1,434	34	△1,400
調整項目の額 (19)	805	792	△13
その他Tier1資本の額 (20)	328	29	△299
Tier1資本の額 (21)	23,888	24,575	+ 686
Tier2資本の額 (22)	1,142	972	△170
総自己資本の額(Tier1+Tier2) (23)	25,031	25,547	+ 516
リスク・アセット等 (24)	176,910	176,384	△526

(参考)

■ バゼル3最終化ベース試算値

普通株式等Tier1比率(その他有価証券評価差額金除き) **9.3%程度***

※ 2021/9末実績値(11)に対し、バゼル3最終化(SA・資本フロア見直し等・完全実施基準)によるリスク・アセット増加を反映した試算値

2022年3月期 業績目標

HD連結・銀行合算

HD連結

(億円)	通期 目標	期初 目標比	前期比
親会社株主に帰属する 当期純利益 (1)	1,450	—	+206
KMFG連結 (2)	150	—	+92
その他連単差 (3)	150	—	+19

*1

1株当たり普通配当

	1株当たり 配当金	前期比
普通配当(年間予想) (4)	21.0円	—
うち中間配当 (5)	10.5円	—

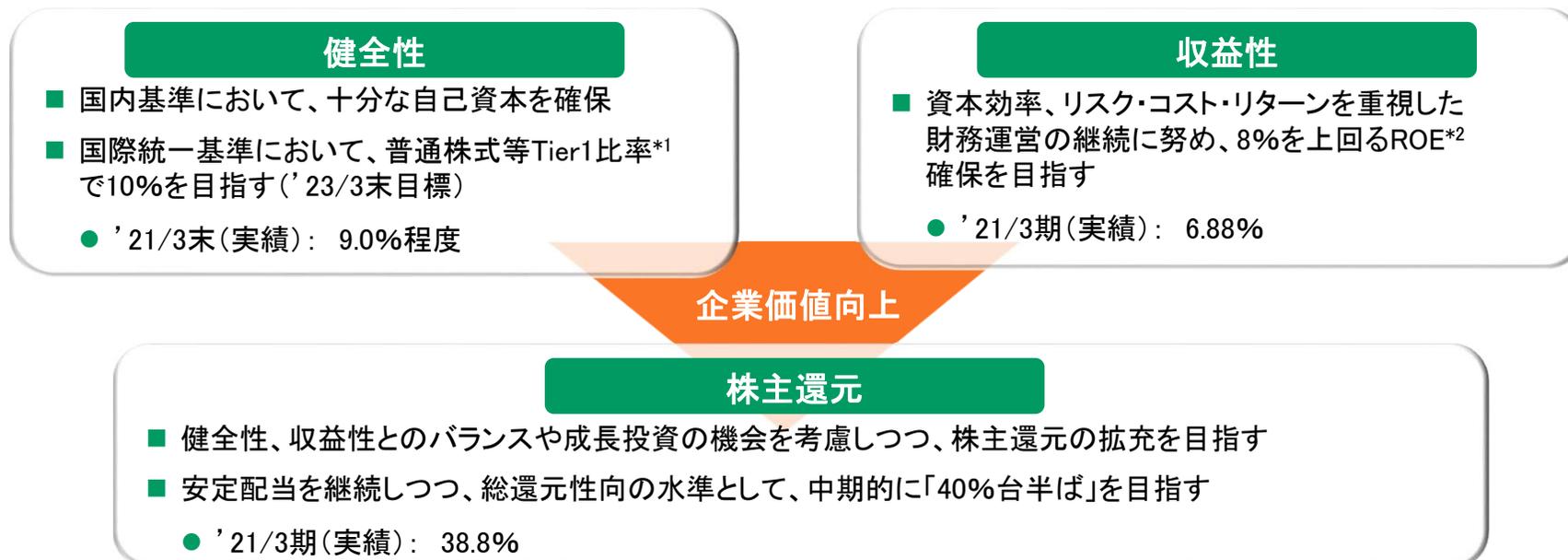
銀行合算/各社単体

(億円)	銀行合算		りそな銀行		埼玉りそな銀行		KMFG 銀行合算	
	通期 目標	期初 目標比	通期 目標	期初 目標比	通期 目標	期初 目標比	通期 目標	期初 目標比
業務粗利益 (6)	5,940	△50	3,400	△70	1,140	—	1,400	+20
経費 (7)	△3,955	+15	△2,130	—	△775	—	△1,050	+15
実質業務純益 (8)	1,985	△35	1,270	△70	365	—	350	+35
株式等関係損益(先物込) (9)	375	+70	330	+70	35	—	10	—
与信費用 (10)	△370	—	△220	—	△65	—	△85	—
税引前当期純利益 (11)	1,830	+15	1,340	—	290	—	200	+15
当期純利益 (12)	1,285	+10	945	—	205	—	135	+10

*1. 2022/3期は完全子会社化に伴いKMFG連結純利益の100%をHD連結純利益に取り込み

資本政策について

- 「健全性」「収益性」「株主還元」のバランス最適化を基本方針として、中期的に株主還元の拡充を目指す



- '21/11月 上限100億円の自己株式取得枠を設定(今回取得する自己株式は全て消却)

- 本件は、以下を踏まえた還元アクション
 - コロナ禍において社会インフラとしての使命を発揮するなか、中間期業績が順調に進捗
 - 親会社株主に帰属する当期純利益 : 808億円(通期目標比進捗率 55.7%)
 - 普通株式等Tier1比率*1 : 9.3%程度('21/3末比+0.3%)
 - 総還元性向目標に向けた道筋の提示
 - '22/3期 予想・総還元性向 : 35.0%(期初) ⇒ **41.9%(本件実施後)*3**
 - 現在の株価水準

*1. パーゼル3最終化ベース、その他有価証券評価差額金除き *2. 親会社株主に帰属する当期純利益÷株主資本(期首・期末平均)
*3. KMFG完全子会社化に伴うEPS希薄化影響中立化を目的とした自己株式取得は除く

(ご参考)営業部門の損益概要

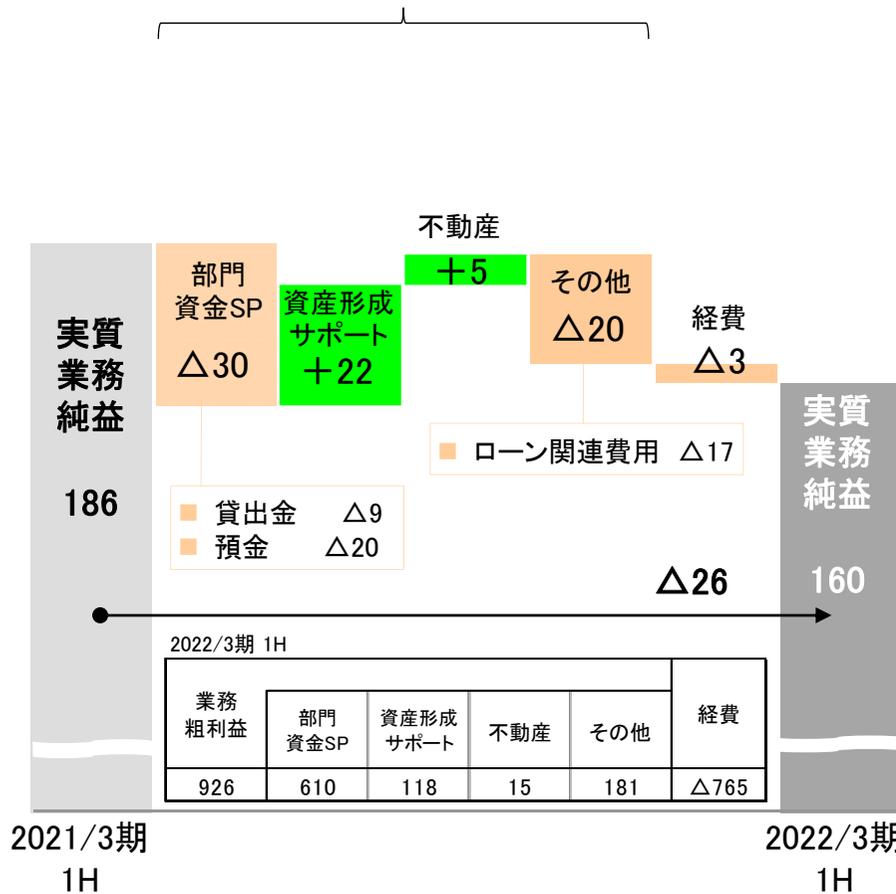
HD連結 (KMFG連結除)

コンシューマー部門

■ 実質業務純益は前同比△26億円の減益

(億円)

業務粗利益 △22

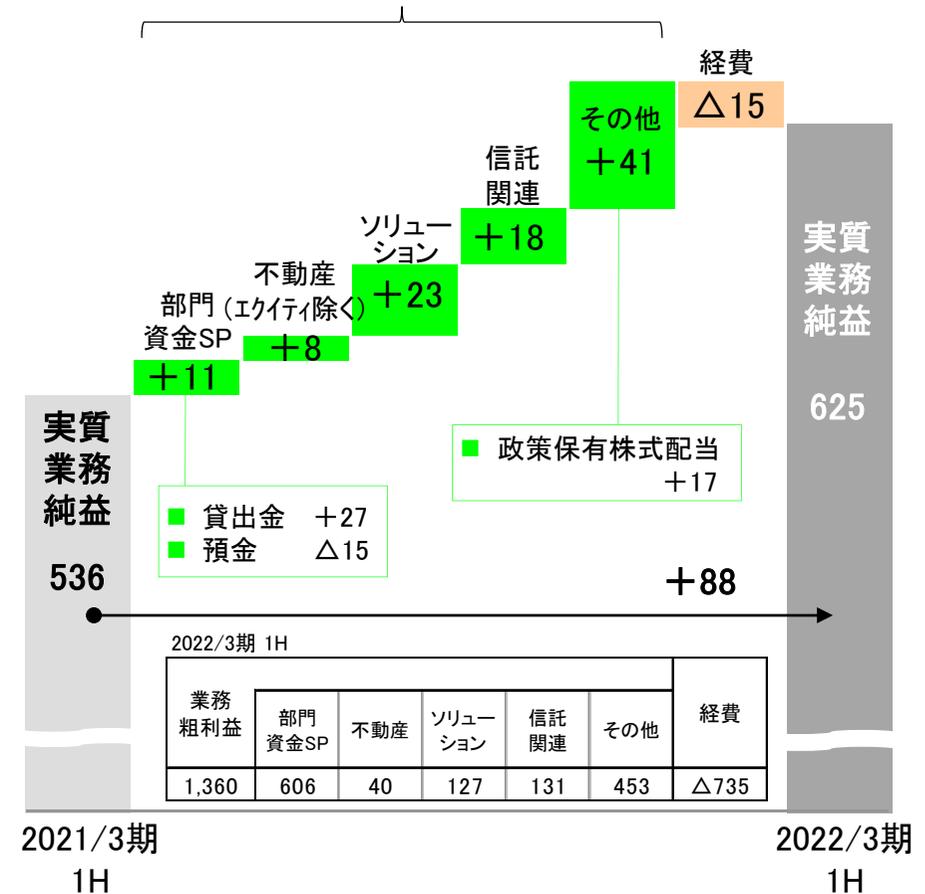


コーポレート部門

■ 実質業務純益は前同比+88億円の増益

(億円)

業務粗利益 +103



- 本資料における表記の定義は下記の通りです。

[HD] リそなホールディングス、[RB] リそな銀行、[SR] 埼玉りそな銀行、
[KMFG] 関西みらいフィナンシャルグループ、[KMB] 関西みらい銀行※、[MB] みなと銀行
※[KU] 関西アーバン銀行 と [KO] 近畿大阪銀行 が2019年4月1日に合併

利益にマイナスの場合は「△」を付して表示
計数には社内管理計数を含む

本資料中の、将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府や中央銀行の方針、法令、実務慣行および解釈に係る変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。